意見発表

山梨県知事

横内正明

全国高速道路建設協議会会長

全国高速道路建設協議会の会長を仰せつかっております、山梨県知事の横内でございます。今日は、全国からこのように多数の同志の皆さん、お集まりいただきまして本当にありがとうございました。ご苦労さまでございます。また、今日は道路関係の行政関係の皆さん方にも大勢ご出席いただいておりますことに対しましても、深く感謝を申し上げたいと思います。

高速自動車国道を核とする高規格幹線道路網1万4000kmは、安全で安心できる強靭な国土を形成する上で、最優先で取り組むべき重要な社会基盤施設であります。今後、南海トラフ巨大地震、更には首都圏直下型地震が想定される中、国民の生命、財産を守るためにも、未事業化区間の整備に着手し、高規格幹線道路網を完成させることは喫緊の課題であり、また国の責務であると我々は考えておるところであります。

しかしながら、供用率は未だ7割台にとどまっており、整備スピードの遅れは否めません。特に地方部においては、道路公団民営化など制度変更のたびに、高速道路の整備を待たされてきており、整備の遅れは地域防災・減災対策に大きな支障を来たすだけでなく、国際競争力の低下とか、過疎問題などの地域格差を拡大する一因ともなっているところであります。

更には、高速道路の使命とも言える高速性、安全性、定時性の向上を考えれば、暫定2車線区間などの交通隘路区間の解消や、中央自動車道、東名高速道路などの大都市周辺における恒常的な渋滞区間の解消も急がなければなりませんが、これも遅々とし進んでいないのが現状です。

また昨年12月には、本県の中央自動車道・笹子トンネルにおきまして大変痛ましい事故が発生しましたが、これにより高速道路の老朽化対策も喫緊の課題であることが明らかになりました。高速道路のうち、開通から30年以上が経過した道路は既に4割にも上り、今後、本格的な大規模更新時代を迎えます。笹子トンネルのような事故が二度と起きないよう、戦略的な維持管理を強化していくことが求められております。

当方の総意であります高規格幹線道路の早期ネットワーク化やボトルネック対策推進、更には老朽化対策の推進等のため、所要財源の確保は不可欠であります。そのためにも、平成26年度予算におきましては、概算要求で示された「新しい日本のための優先課題推進枠」を含めた道路関係予算を満額確保することを強く求めるものであります。

加えて、今後、スマートインターチェンジの整備財源をどうするかということも当面の大きな課題となります。これまでは利便増進事業の財源を整備費に充ててまいりましたが、その財源が近く枯渇してしまいます。高速道路の利活用を促すスマートインターチェンジの整備促進は、地域経済の底上げに極めて有効なものでありまして、利便増進事業終了後も継続的に整備が進められるよう、併せて要請したいと思います。

なお、去る11月21日の新聞報道によりますと、経済財政諮問会議において4人の民間委員が「平成26年度予算において公共事業費は削減すべきだ」と主張したとのことであります。しかし、我が国の景気回復はまだ定着しておりません。GDP成長率が4四半期連続でプラスになっているとは言うものの、景気を下支えしているのは公共投資であります。来年4月からの消費税増税で約8兆円もの所得を民間から政府部門に吸い上げた上に、更に公共事業予算を削減したならば、景気は腰折れし、再びデフレに陥ってしまう危険が大であります。消費税増税による景気の腰折れを防ぐために、来年度予算においては公共事業費の増額を図るべきである、このことを強く主張いたします。

全高速としましては、今後とも、地方が切望する真に必要な道路整備の実現に向け、道路関係団体の皆様と一丸となって促進活動を行って参りますので、皆様のご理解とご支援をお願い申し上げ、私の意見発表とさせていただきます。

意見発表

奈良県香芝市長

吉田弘明

全国街路事業促進協議会代表

皆様こんにちは。奈良県香芝市から参りました市長をしております、吉田弘明と申します。昨年6月に就任させていただきましたので、初めてお目にかかる方が多数いらっしゃると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、僭越でございますが、全国の街路事業促進協議会を代表いたしまして、私の意見を申し述べさせていただきたいと思います。ご存じの通り、本協議会は昭和40年に設立され、都市計画道路の整備、そして充実を目的とし、都知事を会長にし、現在約1000の団体にて構成されているところでございます。

さて、私がおります奈良県の香芝市でございますが、奈良県の西、ちょうど大阪との県境にございまして、この地の利を活かしまして電車、そして自動車でも大阪の都市圏へ30分ほどで行ける、こういった地の利を活かして大きく発展して参りました。30年来、人口が伸び続けておりますし、現在も伸びてございます。そして30年先の人口におきましても伸び続けるという予測をいただきました。まさに日本の全体の動きとは、少し逆行しているところでございますが、我が街のキャッチフレーズは「住まう、そして育てる、働く、新都市創造の街、香芝」住環境には非常に自信を持っている街でございます。こういった人口増を背景に私としては、インフラの整備というのを非常に重要なポジショニングにしているのが現状でございます。

本日は、昨年3月に開通しました都市計画道路、中和幹線のご紹介をしたいと思います。中和幹線は奈良の中部、東西に渡る22・2kmの道路でございます。私の街は、大阪との玄関口でございますから、この玄関口から大和平野を横断し、4市1町、町民と市民の絶大なる期待の中で全面開通しました4車線道路でございます。

この4車線道路が開通したことによって大きく3つの我が街に効果がございました。その1つは第三次救急医療機関への搬送でございます。この搬送が劇的に時間短縮されたこと、そして今まで並行して走っておりました国道165号線が渋滞緩和20%の削減に成功いたしました。やはり基幹道路が、ネットワークが構築しているこの重要性が、非常にあるということを私は再認識いたしました。そして最後には、美観やデザイン、そして利便性、仕事への取組みということで高い評価をいただいたことです。全国街路事業促進会長賞を第25回のコンクールにて頂戴いたしました。このことによって市の職員のモチベーションが大きく上がり、そして奈良県の県道マネージメント部との太いパイプを構築し、新しい街づくりに意欲を高めたところでございます。

こういった中和幹線の総額費でございますが、概ね400億。そしてピークには、年間32億ほどの予算が投じられましたが、現在では街路事業、公共施設・公共事業の削減、こういったものと相まって、当初の3分の1、4分の1ほどの予算に今、甘んじているのが現状でございます。

私はこう思います。基幹幹線道路と一体となったIC道路の整備、そして連立事業と一体となった駅前、こういったところの整備。更には病院等へのアクセス。こういった道路整備は、やはり街づくり、そして地域の発展には欠かせない。それが街路事業の必要性であります。今、全国の都市道路の開業率は約60%。しかし残念ながら、奈良県は50%に満ちていないのが現状でございます。私はこの現状を踏まえ、街路事業を含めた全体の公共事業の予算を、平成20年度レベルまで確保いただきたい。具体的には、7兆円を超える額を何とか確保願いたい。こういった思いでございます。私は全国の自治体の皆様、そして役員の皆様と協力をして、こういった現状を訴えてまいりたいと、このように思います。

本日、ご列席の国会議員の皆様方、そして国土交通省の皆様方にも重ねて、予算の安定的確保をお願いしたい。そして交付金の充実を重ねてお願い申し上げたいと思います。予算の確保は、街づくりのためだけではありません。そこで現場で働く従業員、技術者、日本が誇る高技術の継承、経験、知恵、こういったものの伝承・継承が非常に大切だということを重ねて申し上げたいと思います。これこそが強い日本を取り戻す最善の策だと私は信じております。こうしたことを申し上げ、私の意見とさせていただきます。ご静聴、ありがとうございました。

来賓紹介

梶山弘志衆議院国土交通委員長

【国会議員・本人】

〈衆議院議員〉

阿部寿一、井林たつのり、井上信治、今枝宗一郎、岩永裕貴、上野ひろし、衛藤征士郎、遠藤利明、小里泰弘、大串正樹、金子恵美、金子恭之、金田勝年、神山佐市、木村太郎、黄川田仁志、北村茂男、小島敏文、小林茂樹、左藤章、坂本剛二、坂本哲志、桜井宏、櫻田義孝、笹川博義、島田佳和、鈴木たかこ、瀬戸隆一、田野瀬太道、高橋ひなこ、武部新、津島淳、冨樫博之、豊田真由子、中村裕之、中山泰秀、長坂康正、西岡新、西川京子、西村明宏、野間健、畑浩治、葉梨康弘、平口洋、藤井比早之、堀内詔子、三木圭恵、三ツ林裕巳、村岡敏英、盛山正仁、山口泰明、山田賢司、山本幸三、山本有二

〈参議院議員〉

井原巧、石井正弘、岩城光英、小泉昭男、佐藤信秋、柴田巧、藤川政人、堀井巌、松下新平、三木亨、山下雄平、山田修路

【国土交通省】

増田優一国土交通事務次官、徳山日出男道路局長、望月明彦都市局官房技術審議官、関博之北海道局長

【高速道路株式会社】

菅原秀夫首都高速道路（株）代表取締役社長、川添卓司東日本高速道路（株）建設事業本部建設部長、源島良一中日本高速道路（株）建設事業本部事業調整担当部長、廣川誠一西日本高速道路（株）計画調整担当部長、南部隆秋阪神高速道路（株）常務取締役、井口徹典本州四国連絡高速道路（株）東京事務所長

【友誼団体】

井上啓一（公社）日本道路協会会長

【国会議員・代理】

〈衆議院議員〉

阿部俊子、青山周平、赤沢りょうせい、麻生太郎、穴見陽一、井上貴博、井上英孝、池田道孝、石破茂、伊東信久、岩屋毅、江﨑鐵磨、江渡聡徳、大串博志、大口善德、小此木八郎、小沢鋭仁、小田原潔、大島理森、大塚高司、大西英男、大見正、奥野信亮、加藤勝信、勝沼栄明、亀岡偉民、川崎二郎、川田隆、菅家一郎、菅野さちこ、神田憲次、木原誠二、木原稔、岸信夫、岸田文雄、北川知克、工藤彰三、小林鷹之、小松裕、今野智博、坂元大輔、椎木保、塩崎恭久、塩谷立、重徳和彦、白石徹、助田重義、鈴木俊一、鈴木淳司、薗浦健太郎、園田博之、高木美智代、高橋みほ、田中和德、田中英之、田中良生、田村憲久、竹下亘、竹本直一、武井俊輔、武田良太、武村展英、橘慶一郎、棚橋泰文、土屋正忠、寺島義幸、冨岡勉、豊田真由子、中谷元、中谷真一、中丸啓、長島忠美、永山文雄、西川公也、額賀福志郎、野田聖子、野田毅、萩生田光一、橋本岳、鳩山邦夫、林田彪、平沼赳夫、福田達夫、藤井孝男、藤原崇、船田元、船橋利実、古川禎久、古屋圭司、保利耕輔、細田健一、細田博之、牧島かれん、牧原秀樹、町村信孝、松田学、松本剛明、三ツ矢憲生、三原朝彦、御法川信英、宮内秀樹、宮下一郎、武藤貴也、村井英樹、茂木敏充、森英介、保岡興治、簗和生、山口俊一、山本公一、山本幸三、山本拓、吉川貴盛、若井康彦、鷲尾英一郎

〈参議院議員〉

青木一彦、石井準一、石井浩郎、磯﨑仁彦、岩井茂樹、宇都隆史、尾辻秀久、大家敏志、大野泰正、岡田直樹、片山虎之助、金子原二郎、岸宏一、北村経夫、熊谷大、小坂憲次、佐藤ゆかり、酒井康行、島田三郎、関口昌一、伊達忠一、高橋克法、滝沢求、滝波宏文、塚田一郎、鶴保庸介、堂故茂、豊田俊郎、中泉松司、中西祐介、中野正志、長峯誠、二之湯武史、野上浩太郎、野田国義、野村哲郎、長谷川岳、橋本聖子、羽田雄一郎、林久美子、林芳正、福岡資麿、古川俊治、舞立昇治、松山政司、丸川珠代、森まさこ、森屋宏、山口那津男、山下雄平、山本一太、山本順三、脇雅史、渡辺猛之

【祝電】

〈衆議院議員〉

漆原良夫、大久保三代、中丸啓、松本純、義家弘介

〈参議院議員〉

佐藤信秋、関口昌一、藤本祐司、脇雅史

（敬称略）

司会

栃木県茂木町長

古口達也

全国道路利用者会議副会長

閉会の辞

東京都青梅市長

竹内俊夫

道路整備促進期成同盟会
全国協議会会長